

◆三宅和広議員 座席番号3番の三宅和広です。

今回の12月定例会では、政和会から4人が質問をさせていただきますが、そのトップバッターを務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

まず初めに、質問事項の1番目、学校トイレの洋式化についてお伺いします。

先月11月10日に文部科学省は、全国の公立小・中学校のトイレの洋式便器の割合を調べた実態調査の結果を公表しました。ことし4月1日現在の全国の公立小・中学校を対象に実施した調査で、男子の小便器を除いて、児童・生徒が日常的に使用するトイレの洋式便器と和式便器の状況を調べたものです。

この調査によると、全国の平均は、洋式便器の割合が約43%、和式便器の割合は約57%、山形県の平均では、洋式便器の割合が若干下がり、洋式便器が約41%、和式便器が約59%という状況でした。

商業施設のトイレはどこでも洋式トイレが当たり前ですし、ほかの公共施設でも洋式トイレが増えてきています。また、家庭でも多くが洋式トイレになっているのではないのでしょうか。そうした中で、学校トイレの洋式便器の割合が40%程度という状況は、社会の流れに遅れた状況にあると思います。

「学校のトイレ研究会」という研究会があります。トイレや洗面器の分野で国内シェア約6割を占め、業界第1位のTOTOが中心になり、内装メーカー、それから清掃メンテナンス会社、こういった方々とともに1996年に発足したものです。学校トイレの実態をソフト面とハード面の両面から調査研究し、児童・生徒が安心して使える快適なトイレを普及させることを目的に発足したものだそうです。

この学校トイレ研究会が平成27年度に各地の公立小・中学校の教職員を対象に、学校施設で改善が必要な施設は何かについて複数回答で聞いたところ、トップは59%のトイレでした。2位は30%のパソコン・電子黒板で、2倍ほどの差をつけ、断トツで先生方はトイレの改善を求めているとの結果でした。

民間企業がその業務内容に係る事柄について調査したわけですので、信憑性がないとの意見もあると思います。ですが私は、この結果はあながち間違いではないと思います。子どもたちが学校のトイレは臭い、汚い、怖い、暗いところだと思っている、こういうことを子どもたちに直に接する先生方が感じ取った結果だだと思います。同じような調査を天童市で実施したとしても、同じような結果になるのではないのでしょうか。

学校でトイレに行けない症候群が問題になっているという話を聞きます。自宅では洋式トイレを使ってきた子どもが、小学校の和式トイレに戸惑ってしまい、多くの子どもたちが「和式だから使えない」と、学校のトイレを使わずにいるというものです。実際に市内の女子中学生の方にトイレの状況を聞いてみました。「洋式トイレと和式トイレが1つずつあるが、和式を使う人は少なく、洋式のほうに列ができることがある」ということでした。また、市内のある放課後児童クラブの方からお聞きした話ですが、「小学校はほとんどが洋式トイレがないため、小学校で我慢してトイレに行かずに、学童に着くとすぐに洋式トイレに駆け込む子ども

がいる」というお話を聞きました。子どもたちがいかに和式トイレを敬遠しているかが分かるかと思えます。

先ほど紹介した文部科学省の調査でも、学校を設置する 1,799 の自治体に、今後校舎を新築、または改築する場合に、トイレをどうしたいかと訪ねたところ、85%の自治体が洋式の割合を 60%以上にしたい、さらに 43%の自治体がほとんどを洋式にしたいと答えています。

トイレを改修し、洋式化を進める理由は、「洋式でないためにトイレを我慢する児童・生徒がいる」「和式トイレになれていない」「和式トイレは使いづらい」といったものだけではなく、「床を水洗いする湿式清掃は衛生面で問題がある」「節水型のトイレを導入することによって水の消費量を減らせる」「災害時の避難場所となった際に高齢者への配慮としても必要である」ということが挙げられます。

1つ目の湿式清掃の衛生面の問題については、これまで通常行われてきた床を水洗いする湿式清掃は、乾燥しづらいため、雑菌が発生しやすく、衛生面で問題があるとともに、においの原因でもあります。塩化ビニールシートの床をモップでふく乾式清掃のほうが衛生的だと言われています。2つ目の水の使用量削減については、洋式便器は和式便器と比べて洗い流す面積が小さいことや改良が進んだこともあり、現在生産されている便器は十数年前の便器と比べて、約半分の水道使用量で済むとされています。3つ目の災害時の避難場所となった際の高齢者への配慮については、東日本大震災や熊本地震の際に御高齢の方が避難所の和式トイレが使えず、避難所を出て危険な自宅に戻ったというケースがあったことが報道されていました。

本 12 月定例会の初日に山本市長は、3期目就任の挨拶の中で、「子育て支援のさらなる充実を図りたい」「子どもの教育は天童市で受けさせたいとだけ思うのではなく、積極的にいきたい」と述べられました。子どもたちは長い時間、学校で過ごします。トイレは誰でも使わなければならないものです。文科省でもこうしたトイレ改善の取り組み事例集を作成して推進しています。子どもたちの教育は天童市で受けさせたいとだけ思うのではなく、積極的にしていきたいためにも、学校トイレの洋式化を進めることは喫緊の課題であると考えますが、天童市の現在の状況はどうなっているのか、また、今後の取り組みの予定についてお伺いしたいと思います。

次に、質問事項の2番目、さまざまな啓発運動と連動した市庁舎等のライトアップについてお伺いします。

国などが実施する啓発運動では、イメージカラーを決めているものがあり、啓発運動期間内に建物などを、そのイメージカラーでライトアップし、意識の高揚を図っている事例があります。例えば今年 11 月 12 日から 25 日までの期間で行われた女性に対する暴力をなくす運動では、全国の 79 カ所で紫色のライトアップが実施され、本県では上山城と山大米沢キャンパス内にある旧米沢高等工業学校本館で実施されました。

こうしたライトアップを活用した意識の啓発活動は、ほかにもさまざまな運動で活用されています。1月の防災ボランティア週間では緑色と黄色に、3月の世界緑内障週間ではグリーンに、4月の発達障がい啓発週間ではブルー、5月の赤十字運動月間では赤、6月の世界禁煙デーではイエローグリーン、9月の世界アルツハイマー月間ではオレンジなどがあり、ほかにもライトアップできる啓発運動はいろいろあります。

また、ライトアップはこうした全国展開されるもののほかにも、天童市独自のものにも活用できると思います。例えば4月は桜まつりに合わせてピンクに、8月は夏まつりに合わせて燃える赤に、12月には天童高原スキー場開きやクリスマスに合わせたライトアップを、さらには天童市を本拠地とするモンテディオ山形やパスラボ山形ワイヴァンズの試合がある前日や当日にそれぞれモンテブルー、ワーケンバイオレットにライトアップするなど、いろいろ考えることができます。

そこで御提案ですが、天童市でも各種の啓発運動やイベントと連動した市庁舎のライトアップをしてはどうでしょうか。具体的なライトアップの方法は、市庁舎西側の県道から見える議会棟の3階部分あたりを日没から午後9時ごろまでの3、4時間ライトアップしてはどうでしょうか。機器はLEDで消費電力が少なく、光の3原色の赤、緑、青の組み合わせにより自由な色をつくることができるようです。ライトアップのテーマは市役所の各課から募集し、実施するライトアップのテーマについては、天童市のホームページに何月何日に何々のために何色にライトアップしていますなどと載せれば、市民の皆様に趣旨をお知らせすることができますと思います。

本市が進めるピンクリボンスリースマイル運動の啓発のために、例えば3のつく3日、13日、23日に市庁舎をピンク色にライトアップすれば、市民の皆様の意識の高揚が図られ、健康増進を図ることができると思います。また、天童桜まつりや天童夏まつりのときにライトアップすることは、祭りを盛り上げる効果がありますし、観光PRの面で効果があると考えられます。モンテブルーのライトアップは、天童市民挙げてモンテディオ山形を応援する姿を市内外に示すことができると思います。

市庁舎のライトアップによる市民の意識高揚のための取り組みについて、山本市長のお考えをお伺いしたいと思います。

以上、1回目の質問といたします。

◎山本信治市長 三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

さまざまな啓発運動と連動した市庁舎等のライトアップについての国などが実施する啓発運動と連動した市庁舎等のライトアップによる市民の意識啓発とイベントの盛り上げについて申し上げます。

国を挙げて啓発運動やイベントにおける全国各地のライトアップの取り組みにつきましては、ランドマークや城、寺院等の歴史的建造物、多くの人が集まる親水公園などで実施され、意識啓発の面で効果を上げております。これらの建造物等と比較しますと、市庁舎はシンボリックな性格や歴史的、文化的な価値を持つものでもなく、周辺住民への影響などの課題もあることから、ライトアップにつきましては今後検討してまいりたいと考えております。

ライトアップに取り組む施設としては、市民の憩いの場である交流の場となっているわくわくランドの噴水広場が考えられます。各種の啓発運動や祭りの期間中にそれぞれのイメージカラーを生かした噴水のカラー照明を行い、意識の高揚やイベントで盛り上げにつなげてまいりたいと考えております。

◎相澤一彦教育長 三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

学校トイレの洋式化についての学校トイレ洋式化の現在の状況と今後の対応計画について申し上げます。

本市の学校施設におけるトイレ洋式化につきましては、平成 21 年度に地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用し、全ての小・中学校において実施し、男子トイレ及び女子トイレとも1カ所のトイレにつき1基の洋式化を図っております。その後、第二中学校及び第三中学校の大規模改造事業、第一中学校の改築事業を実施し、文部科学省の調査が行われた本年7月現在、総便器数 640 基のうち 262 基が洋式化されております。洋式化率は、小学校で 34.8%、中学校で 55.6%、全体で 40.9%となっており、特に小学校におけるトイレ洋式化の促進が課題であると認識しております。

一方、本市の学校施設の多くは建築後 30 年を経過し、トイレを含む給排水設備、暖房設備、受変電設備、プール設備等において是正を要する事項が増加していることから、今後本市における学校施設等の長寿命化計画を策定する予定であります。したがって、洋式化を含めたトイレの改修につきましては、学校施設長寿命化計画において改修方針及び優先順位等を明確化し、年次計画により対応してまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

◆三宅和広議員 御答弁ありがとうございました。それでは、再質問をさせていただきたいと思っております。

まず、学校トイレの洋式化についてお伺いしたいと思います。

天童市の状況について、小学校 34.8%、中学校 55.6%、全体として 40.9%ということで、特に小学校のほうは課題であると御認識をいただいているということは、大変ありがたいことだと思っております。

トイレのほかにもいろいろなところで改修する必要があると、そちらのほうとあわせて、長寿命化計画の中で盛り込んで検討していただくというようなことだったと思っておりますが、本当に子どもたちは困っている状況にあると思っております。先ほど申し上げましたように、中学生にちょっと聞いてみたところ、実際に和式トイレのほうは使いづらくて洋式トイレのほうに並んでいるというような状況にあるというようなことでございますので、本当にトイレというものは大きな問題であると思っております。

小学校のほかにも、近くの幼稚園とか学童さんとかいろいろ聞いてみましたが、やはり洋式化が進んでいる。あけぼの保育園さんは全て洋式化になっているということでございます。そこから小学校に上がってきて1カ所につき1個しか洋式がなく、ほとんどが和式になっているというような状況は、小学校1年生にとっては大変ショッキングな出来事なのかなと思います。

ほかにも暖房とか給排水というのがありますが、それよりも先にトイレの洋式化というものを優先して進めるべきものかなと思っておりますが、その辺のところ、教育長さんのお考えをお伺いできればと思います。

◎相澤一彦教育長 それでは、お答え申し上げます。

ただいま天童市の洋式化率について、40.9%というお話をさせていただきましたけれども、県平均が41.2%ですので、0.3%ほど低いのかな、ただ、ほぼ県平均並みということが一つ言えるのではないかなということがまず言えると思います。それから、トイレ改修につきましては、子どもたちが大変トイレの改修についてありがたく思っている、うれしいことだというのは、私は天童二中の大規模改修のときに校長職にありまして、アンケート等をとったときに、大変使いやすい、きれいだというような、掃除がしやすい等含めて反応がありましたので、それは大事だということは認識しております。

一方で、改修の折に、和式、洋式についてどのように子どもたちが考えているのかアンケートをとらせていただきました。正式な数として私の手元にはありませんけれども、ほぼ2割ほどの子どもたちが和式を好むというアンケートの結果が返っておりまして、和式について、なぜ和式が好きというか、和式のほうがいいと思っているかという理由の記入を見たところ、自分の家も和式だという答えと他人のお尻がついた洋式に腰をかけるのは抵抗があるという答えがありました。それだけではないんですけれども、一つはそういう和式のほうが落ちつくというお子さんもいる関係上、和式は1つを残したい。ただ、その1つが今後検討して、フロアに1つぐらいでいいのか、建物に1つでいいのかということは、改修の計画に従ってやっていくべきだと考えております。

もう一つ私、少しこだわったことがありまして、おおよそ測ってみたんですけれども、和式のトイレの長さというか、幅は若干いろいろありますけれども、おおよそ1メートル、950 ミリから1メートルでした。洋式になりますと、これが1,300 ミリ、一番新しい一中は1,390 ミリあります。もっとこれを具体的な例でわかりやすく言いますと、4個の和式トイレが並んでいるところを洋式にすると、3個になります。4メートルに、1,390 ミリになりますので、数が減るということになります。実際、二中、それから改修した三中のほうも数が減っております。例えば天童二中のほうは59個が55個、若干ですけれども、いろいろな工夫で掃除用具の位置を変えたりして、なるべく減り方を少ない、天童三中のほうは46個のところを45個ということで、1個にとどまっていますけれども、旧来の建物の大きさの中に大き目の洋式にすると、数が減るという問題もありまして、全生徒数が十分使えるかどうかということにつきまして検討する余地があるのではないかな、トイレの改修についてのたまかな見通しであります。

それから、改修時期については、繰り返しになりますけれども、指摘がありました学校施設環境改善交付金というものを使って、いろいろな建物の施設等の改修を行っておりますけれども、それを踏まえて学校施設長寿命化計画、これは平成30年度でおおよそ小学校の暖房器具、グラウンド、その他が終わります。その後には計画をつくりまして、トイレの改修のほうに入っていけるのではないかなと、これも計画的に順次やってまいりたいというように考えているところでありますので、どうぞ御理解いただきながらよろしくお願ひしたいなと思っております。

以上です。

◆三宅和広議員 まず、天童市の状況、40.9%ということで、そんなに悪くないのではというお話だったと思うんですが、文部科学省から資料をいただいて、各市の状況をちょっと見

ましたんですが、一番いいのが戸沢村とか、市町村で言うと東根市の 49%ですとか、酒田市 62%、進んでいるところは非常に高い割合になっているんですね。こういったことを考えると、いい状況ではないのかなという気がしますので、この数字、いいというふうな理解はしていただかないほうがいいのかなと思っています。

それから、和式を残す理由がアンケートをとられて、2割が和式を好むということだったというお答えでしたけれども、確かに自分の家が和式だというお家もあるのかなと思います。ですが、和式の方が洋式を使うのと、洋式になれた人が和式を使うのとでは、ちょっと抵抗感が、和式を使っている人が洋式を使うほうが少ないのかなという気がするんですが、その辺のところ、いかがでしょうか。

◎相澤一彦教育長 私がとらせていただいたトイレのアンケートも平成 24 年度になるわけですので、平成 28 年でありますから、トイレの状況も変わっているだろうなということは容易に推測できるわけでありまして、最近の様子などを必要に応じて実態等を知りながら、押さえながら今後の改修に生かしていくべきではないかなと思っていますところ。

発言のついでではありませんけれども、先ほどのパーセントなんですけれども、改修の目安としては、今ある1基だけ洋式を、逆に1基だけ和式に残すということで概算したところ、63%が洋式という形で改修の計画を立てていきたい、つまりわかいにくい言い方をして申しわけないんですけれども、今、小学校は1基だけ洋式ですね。例えば3つ便器があるところ、1つだけ洋式になっていますけれども、逆に1つだけ和式を残す、全てのトイレを1つだけ和式に残すという計画で今後取り組んでまいりたいという大まかな計画を持っているわけですが、そこについて、そうやった場合、洋式率は 63%という形になりますので、それがそこで十分なのか、あるいはもう少し増やすべきなのか、あるいは先ほど言ったように、どこに残すということについては、繰り返しになりますけれども、今後の長寿命化計画によって計画を立ててまいりたいと思っていますところ。

以上です。

◆三宅和広議員 わかりました。和式を1基だけ残せば 63%ということで、ある程度の数にはなるのかなと思います。

ですが、先ほどの学校のトイレ研究会というお話をさせていただきましたが、そちらのほうで発行しているこういった冊子があるんですけれども、こういったものを拝見すると、和式を1個だけ残したほうがいいのではないかなという話があるということも書いてありました。ですけれども、結局は和式のほうが使われずに、洋式のほうに列ができて並んでいるというような状況になってしまったというところがある、結局はもう一度改修工事をして、和式を洋式に変えたというような事例もあるということがありました。

先ほどアンケートをとられた結果として、中学校の改修を進められたということで、24 年度、教育長さんがおっしゃったように、これから改修工事、30 年度までに空調、残るところが2カ所ほどあって、30 年度までには完成見込みということで、その後、新たな長寿命化計画ですか、そちらのほうをつくるときにアンケート等を実施された上での対応をお考えな

のかなと思いますが、その辺のところ、アンケートを十分精査された上で、その辺のところを決めていただければいいのかなと思います。

私個人的には、全て洋式化のほうが、後々のためにとってはいいのかなという気がしております。

お金のほう、経費がかかるわけなんですけど、先ほど学校施設環境改善交付金ということで、大規模改修工事のほう、3分の1は国からの補助金が出るというようなことになっているようでございます。3分の2は市町村負担になるんでしょうけど、大分お金がかかるかと思いますが、ぜひ進めていただければいいのかなと思っております。

先ほど節水についてちょっとお話をしたかと思いますが、旧型のトイレ、1回の洗浄で13リットルの水を使うものが主流になっているそうです。現在では6リットルのタイプが出ている。6リットルですから半分、また、中には4.8リットルというものも出ているということでもございました。和式トイレを洋式トイレにすると節水効果が得られるということで、和式トイレ中心に学校を洋式トイレ中心にした場合に、これは学校の規模もよるんではないかと、それから水道料金の違いもあるかと思うんですが、年間1校当たり100万円ほど経費が削減されたというデータもあるようでございます。切り替え時に初期投資、インシャルコストはかかりますけれども、ランニングコストのほうで数年でそれは回収できるというふうなことでもございますので、その辺も検討する判断にさせていただいて、年次計画を立ててなんですが、1年当たりの校数を少しでも多くしていただいて、全て早目に洋式化していただければありがたいなと思っております。

子どもたちにすれば、本当に現状が、トイレとか、ほかの施設と学校のトイレのギャップがすごくありますので、早急に整備計画をつくっていただいて、環境整備に進めていただければよろしいのかなと思います。

以上で1番目の事項についての質問は終わらせていただきたいと思っております。

続きまして、質問事項の2番目、市庁舎のライトアップについて再質問をさせていただきたいと思っております。

国等でやっている啓発運動、ライトアップする施設対象としては、ランドマーク的な、歴史的な建造物、それからシンボルタワーのようなものということで、天童市庁舎の場合は、そういったランドマークには該当しないだろうという御判断だというふうにお伺いしました。それから、地域住民の方への配慮ということもあるということでもございますけれども、例えば上山城のライトアップということで新聞記事を、これは重要文化財ですけども、米沢市のキャンパスの重要文化財ですが、あそこの建物も、そんなに高い建物でもないんですね。高さはそんなにないし、横幅もこの市庁舎と同じぐらいの幅でございますので、ライトアップする価値というか、効果はあるのかなと思っております。

ランドマークでなくても、こういった何々をやっているということをお皆さんに知っていただくという意味では、市庁舎というものが逆にメリットがあるというか、効果があるような施設にも考えられるんですが、その辺のところ、私はそのように思いますが、山本市長、どのようにお考えでしょうか。

◎山本信治市長 三宅議員の言っていることは非常に理解できます。我々も例えばピンクリボン運動とかさまざまな運動をやるわけですが、どうやって市民の皆さんに周知徹底していくのか、お知らせしていくのかということは非常に課題にいつもなるわけなんですけれども、そういうような意味で、一つの取っかかりとしてこのライトアップによる啓発活動というのは、非常に効果があるんだろうというふうに思います。

その中で、先ほどわくわくランドのところでと言っておりますけれども、あそこにもともと噴水がライトアップされていたんだそうですけれども、故障しておりまして、直しに入ることですから、直しに入りますので、そういうような機会も含めて、そういうようなものを取り上げたらどうだろうという一つの提案でございました。

せっかくですので、そんなことを周知しながら、ただ、あそこはあまり夜になりますと人が来ませんので、ライトアップの効果がどれほどあるのかちょっと疑問は疑問なんです。それから、中に入っていますので、皆さんがあそこに行かないと見えないという難点もあるわけですので、どれほどの効果があるのかちょっと疑問ですけれども、さまざまな課題があるわけですが、一つの方向性としては非常にいいものがあるんだろうと思いますので、検討の材料になるんだろうというふうに思っております。

庁舎のほうも、どういう形にするか、なかなかイメージがわからないんですけれども、やってみたら意外と合ったというようなことになるかもしれませんので、ちょっと絵でも描いてみてやってみるとわかるかもしれませんので、そういうことも含めて、調査研究してみたいなとは思っています。

◆三宅和広議員 わくわくランドの噴水というところで直してということでございます。ぜひ直していただければと思います。

やはり人が来ないというところで啓発効果はあまりないのかなという気がしていました。ここの庁舎のほうがむしろいいのかなという気がしております。

市庁舎に限らず、機器がどういったものかということにもなるんですが、移動式の機器を準備するというのも可能なのかなという気がします。そうしたときに、通常は市庁舎で行いますが、ピンクリボンのときは市民病院でやったり、群役所、あちらのほうをやったり、それから天童高原のスキー場開きに合わせて天童高原で使ったりなんてということも可能なのかなという気がしています。これは具体的に業者さんに紹介をしてというところなんですが、私ちょっと、カタログを取り寄せたり、ちょっと業者さんと話をしたときに、そういったことも可能だというようなことでもございましたので、それもあわせて検討していただければいいのかなと思っております。移動式を考えられるのかなという気がしますので、その辺のところも含めて検討していただければと思います。

酒田市なんですけれども、山居倉庫、玉簾の滝、それから桜並木のライトアップを実証実験という形で実施したそうです。これは啓発運動と連動したライトアップではないわけなんですけど、観光面での効果を狙ったというものでございますけれども、この取り組みが新聞とか雑誌、それからインターネット上で取り上げられたりしておりまして、数千万円の広告効果があったそうです。先ほど女性に対する暴力をなくす運動で上山城とか旧米沢高等工業学校本館のライトアップ、これも新聞のほうに取り上げられていますし、内閣府のホー



ムページのほうでもそういったことを取り上げておりますので、市民の意識の高揚のほかにも、天童市のイメージアップを図ることが期待できるものと思っております。

その辺のところも含めて御検討いただければと思います。

もう一つ、電気代がかかるかなという心配があるのかなという気がしますけれども、LEDの50ワットとか60ワットとか、そんな小さいものの電気の機器を何台か設定するだけで十分な効果が得られるようでございますので、そんなに電気代がかかるということでもないようでございますので、ぜひ前向きに取り組んでいただけるようお願いをしたいと思います。

以上で質問のほうは終わらせていただきます。ありがとうございました。